



文：小川 康成

長生きが幸せになるかどうか？（その1）

梅雨が近づき、アジサイが弊社の敷地内で咲き始めて季節を知らせてくれています。群馬産の四季咲きのアジサイをいつか手に入れようとここ数年探していますが、なかなか見つからないものです。探す楽しみというのもありますが...さて、今月は少し哲学的な話しになってしまいましたが、近年の医学の進歩を見ながら少し考えさせられましたので一緒に考えてみたいと思います。

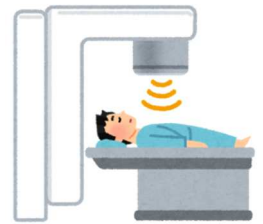


《医学の関連で嬉しいニュース》

今まで健康保険の適用対象外であった、『陽子線治療』と呼ばれる最先端のピンポイント放射線治療が、前立腺がん・骨軟部腫瘍について健康保険の適用対象となりました。従来は288万円が完全実費でしたが、健康保険の適用になる事で187万~110万程度になり3割負担で56万~33万で済むこととなります。更に高額療養費を使用すれば、所得などにもよりますが負担は月額約9万円弱となる為、従来の治療開始から10日以内に実費288万3,000円を支払わなければならなかった昨年までと比較すると、280万円もの差額が生まれる事になりました。

但し、「先進医療特約付きの医療保険」等にご加入の場合、実費を保険会社が支払ってくれますのでそちらの方が実質0円で良かったかもしれません。

ですがそれは一部の話であり、大多数の患者さんや将来患者になるかも知れない我々にとっては喜ばしい話と言えます。しかし、喜んでばかりいられない現実もあります。



2013年のデータで前立腺癌（ICD10-C61）の罹患患者数は7万4,861名となっています。

今回の健康保険適用により、もしこの患者さんが全員「陽子線治療」を選択し、健康保険の高額療養費対象として患者負担が数十万になれば、それは裏を返せば健康保険制度で残りの約160万程度を健康保険等が負担するという事になります。

少々乱暴な計算をすると健康保険制度としては「160万円×7万4,861人=1,197億7,760万円」の負担増になる計算で、なかなかの英断とも言えるのではないのでしょうか。

***前立腺がんは80歳以上の男性の約半数が罹患予備軍とも言われる程の多さです**

厚生労働省によると国民医療費40.8兆円に対して、財源は健康保険と患者さんの自己負担を合わせて24.7兆円しかなく、残りの16.1兆円（約40%）は公費、つまり赤字補填となります。

高齢化に伴いその費用は毎年1.6兆円ずつ増えて行く予想もあり、赤字額は減る要因がありません。

人口構造上税収が大幅に増える要因はない中で、毎年これほどの赤字を計上する国民医療費に自己負担増の改革がある日も近いかも知れません。

その日が来た時の為、備える事も必要かも知れません。

*次回は、国民医療費の話題の続きをしたいと思います

メンバー 近況報告

ファン感謝デー！

今年から名古屋グランパスのファンクラブに入会しました。色々な特典があり、その中にファン感謝デーの優待券が付いていました。というわけで、天気の良い5月27日に奥さんとグランパスのファン感謝デーに行ってきました！

豊田スタジアムの内外でいろいろなイベントが催されていましたが、まずは、スタジアム見学をしてきました。試合前に選手達がウォーミングアップをするウォーミングアップルームやミーティング等をするロッカールーム、試合後に使われる記者会見室等、普段は選手や関係者しか入れない場所を見学でき、テンションが上がりました。

その後は、ピッチに入ってボールを蹴ることができるということだったので、当然ピッチに入ってボールを蹴ってきました。暑かったのですが、最高！芝生の上でボールを蹴れるっていいものですね。次回はミニゲームにも参加したいと思います。

その後は、ステージイベントを見てきました。これも普段は、あまり行くことのない指定席で見ることができました。ステージで行われていた選手たちの大喜利やJリーグ25周年記念限定ユニフォームの発表会、風間監督のトークショーを見て、帰るときには風間監督や佐藤寿人選手、和泉選手、押谷選手、渋谷選手と握手してきました。

行く前は途中で帰る予定でしたが、結局スタートから最後まで、二人とも楽しみました。そういえば、なぜかドアラも来ていましたよ。



伊藤浩明

えびせんべいの里に行ってきました。

休日に友人と二人で出かけようという話になり、知多半島にあるえびせんべいの里の美浜本店に行くことになりました。小学生の頃に子供会の遠足で行った記憶はありましたが、大人になってからは行ったことがなかったので楽しみにしていました。

お店には色々な種類のえびせんべいが売っていて、試食も出来るのでなかなか楽しめました。また休憩コーナーにはコーヒーが飲めるスペースがあり、ゆっくり過ごせました。試食してしまうとつい買いたくなってしまって、結局お土産を含めて6種類

も買ってしまいました。せっかく知多まで行ったので少し海でも見て帰ろうかということになり、寄ってきました。しかし、着いた先は浜辺のないところで、海の近くまで見に行くのも大変で気分だけ感じて帰ってきました。

えびせんべいは多めに買っておいたはずなのに、実家や知り合いのところに寄って渡しているうちに手元には一つしか残りませんでした…(泣)

今度行くときは、自分の分をしっかりと確保できるように買いたいと思います。

岩瀬 英之



きたなシュラン？

きたなシュランってご存じですか？お店の見た目はキレイとは言い難いけれど、料理が美味しいお店の造語だそうです。お店からしてみれば失礼な話ですが、確かに見た目はちょっと“アレ”だけど、それでも美味しいので行きたくなるお店というものが存在しますよね。

先日、そういったお店の一つでメディアでも紹介された瑞穂区にあるトンちゃん屋さんへお友達家族と行きました。外観は昭和レトロな感じのお店で、入口の赤のれんから入ると窓や入口が開けっ放しですが、七輪の炭火で店内は煙でモクモクになっていて、これぞレトロな焼き肉屋という風情でした。知人から人気店と聞いていたので、早めの時間で席のみを電話予約して行きましたが、早い時間でもカウンターは既に満席。夕食時間の6時頃には外で待っている人達がかかり居ました。少し濃いめの赤味噌ダレのお肉は、どれも新鮮でとても美味しかったです。私は特に軟骨が良かったです。ただ、味噌ダレのトンちゃん類を焼くと、七輪からの炎と煙でたまに目に染みるのと、店を出た後の衣類や体に付いた匂いは凄かったですよ。

あと、注文は全てテーブルにある白紙に書いての注文と言われましたが、初めて行った私達は「どう書くのかな？」なんて言いながら注文しました。追加のドリンク類も全て紙に書いての注文で、ちょっと手間かな？

トンちゃんが好きな方、話題のお店が好きな方など、リーズナブルで美味しいお店でしたのでお勧めです！匂いが付いても良い服で行って下さい。

小川真紀

